

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：都市局街路交通施設課  
担当課長名：本田 武志

事業の概要

|   |                               |       |           |      |     |
|---|-------------------------------|-------|-----------|------|-----|
| 事業名   | 地域高規格道路ICアクセス道路<br>(都)飯門田新田線  | 事業区分  | 街路        | 事業主体 | 新潟県 |
| 起終点   | 自：新潟県上越市高土町地先<br>至：新潟県上越市上島地先 | 延長    | L=0.6km   |      |     |
| <b>事業概要</b><br>本路線は、主要地方道上越新井線と国道18号並びに上越魚沼地域振興快速道路の寺ICを結び、広域ネットワークを形成する東西幹線道路である。                                  |                               |       |           |      |     |
| <b>事業の目的、必要性</b><br>当該区間の整備により、唯一のボトルネック区間での渋滞が緩和でき、上越市高田駅周辺から上越魚沼地域振興快速道路へのアクセスが強化できる。また上越地域と十日町、魚沼地域の地域間の交流を促進する。 |                               |       |           |      |     |
| 全体事業費   | 2.5億円                         | 計画交通量 | 24,300台/日 |      |     |
| <b>事業概要図</b><br>  |                               |       |           |      |     |

事業評価結果

|        |             |       |   |  |           |  |
|--------|-------------|-------|---|--|-----------|--|
| 費用便益分析 | B/C         | 4.8   | 総費用：20億円<br>(事業費：19億円<br>維持管理費：0.44億円)  | 総便益：96億円<br>(走行時間短縮便益：81億円<br>走行経費減少便益：12億円<br>交通事故減少便益：3.1億円)                             | 基準年：平成30年 |  |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動 | B/C= - (交通量 - %)  | B/C= - (交通量 - %)   |           |  |
|        |             | 事業費変動 | B/C= - (事業費 - %)  | B/C= - (事業費 - %)   |           |  |
|        |             | 事業期間変 | B/C= - (事業期間 - %)   | B/C= - (事業期間 - %)  |           |  |
| 事業の影響  | 自動車や歩行者への影響 | 評価    | 根拠  |  |           |  |
|        | 渋滞対策        | ◎     | 飯門田新田線は、上越大橋を除いた前後区間は完了（4車線化）しており、唯一のボトルネックとなっている上越大橋を4車線化することにより、渋滞の緩和が見込まれる。          |  |           |  |
|        | 事故対策        | -     | 注目すべき影響は無い  |  |           |  |
|        | 歩行空間        | ○     | 両側歩道が整備されることにより、歩行者の安全性が向上  |  |           |  |
|        | 社会全体への影響    | 住民生活  | ◎   | 交通混雑の緩和により地域住民の円滑な移動が確保される。安塚区から高田駅周辺への所要時間11分短縮   |           |  |
|        |             | 地域経済  | ◎   | 城下町高田地区は、地方再生コンパクトシティのモデル都市に選定（平成30年3月）され、歴史と文化を活かしたまちづくり活動を展開しており、高田駅周辺の街なかの観光客の増加が期待される。 |           |  |
|        |             | 災害    | ○   | 第一次緊急輸送路である上越魚沼地域振興快速道路からの1次アクセス道路であり、災害時の利用が見込まれる。  |           |  |
|        |             | 環境    | -   | 注目すべき影響は無い。  |           |  |
|        |             | 地域社会  | ○   | 上越地域と十日町、魚沼地域の地域間交流の促進   |           |  |
|        | 事業実施環境      | ○     | 都市計画決定 平成12年3月7日<br>1次アクセスとなる上越魚沼地域振興快速道路の寺IC付近では「県立武道館」を建設中であり、拠点間ネットワーク形成の必要性が高まっている。 |  |           |  |

**関係する地方公共団体等の意見**  
 【上越市】  
 ・事業化に同意します。  
 ・平成27年3月の全線開通後の交通量の増加により、ボトルネックとなっている関川橋梁部で渋滞が発生しており、平成31年3月の上越三和道路の一部開通、平成31年度の県立武道館オープンによる交通量の増加も想定されることから、早期の整備をお願いします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
 -

**事業採択の前提条件**  
 費用対便益：便益が費用を上回っている。  
 手続きの完了：都市計画手続き完了（平成12年3月7日）

採択の理由

費用便益比が4.8と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、渋滞対策、住民生活、地域経済など事業効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。